

私たちの暮らしに季節を告げるもの。さまざまな自然がありますが、やはり「花」がうれしいですね。「おこやま花紀行」では、毎回、花の名所ガイドや、お庭のしつらえなど、花にまつわる情報発信をしています。

## ゼラニウム

開花期：3月～12月上旬



### 花も葉も楽しむゼラニウム。

ヨーロッパのガーデンでは代表的な花。日本へは江戸末期に入り、明治大正…と何度か栽培がブームになりました。華やかな花と表情のある葉が、世界のガーデンの重要なファクターになっている所以ですね。

#### 育て方

乾燥を好み、湿度に弱いので、水はけのいい、風通しのいい場所を選んで植え付けましょう。日本は湿度の多い国ですから、地植えにせず、鉢植えにして幾つか並べるのも庭づくりのアイデアかも知れません。



## ペチュニア

開花期：3月～11月



### 窓辺にも素敵な、ペチュニアを。

ツクバネアサガオという和名でもわかりますが、ちょっと小ぶりのアサガオのようなペチュニア。南米の原産ですが、雨にも強く、今では、街路のコンテナやガーデンでは、すっかりレギュラーになっています。

#### 育て方

4～5月頃に出まわる苗を買って植えましょう。日光を好むペチュニアは、日当たりのいい場所に植えてあげましょう。花にかららないように水はたっぷり。株が大きくなるので、土をほぐして植えつけます。



## ビオラ

開花期：10月下旬～5月中旬



### 可憐なビオラで、華やかな彩りを。

パンジーよりも少し小ぶりで、初心者でも咲かせやすいビオラは、ヨーロッパ風のガーデンプランには欠かせません。花丈も低く、株をまとめやすいので、花壇の前のほうにまとめて植えましょう。

#### 育て方

冬から春にかけて花期の長いビオラ。植えつけの季節は、霜がおりなくなつてから。地植えの場合、花の育っている土であればそのまま大丈夫。水やりは、花よりも土を湿らせる感覚で毎日、午前中に。



## 春から初夏のガーデン計画。今年は、おしゃれな西洋庭園にチャレンジ!



春から初夏の季節は、楽しい気分をカタチにする、西洋庭園にチャレンジしませんか? 日本と西洋では、庭ひとつとっても、その思いが異なります。西洋庭園のテーマは、住まいの中心から、基本、左右対称。水と彫刻などのモニュメントを上手に活かして、花も、種類ごとに、面としてレイアウトします。ここでは、西洋庭園計画にふさわしい4種類の花をご紹介します。

## マーガレット

開花期：11月～5月

### 女神も好きなマーガレット。

古代ギリシャの女神アルテミスゆかりの花としても知られるマーガレット。小さなこどもでも花の名前がわかるほど、日本でもおなじみですね。ガーデンで楽しんだ

あとは、摘んで花束をインテリアにもどうぞ。

#### 育て方

日当たりのいい場所を好みます。土は、植えつける前に腐葉土をすき込んでフカフカにしてから。比較的、乾燥が好きなので過度の水やりにはご注意ください。

